

超高齢者に対する定位放射線治療の治療成績に関する遡及的多施設共同研究

① 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

平均余命の短い超高齢(90歳以上)の肺癌・肝癌患者に対し定位放射線治療を行った症例の治療効果や副作用について調べ、超高齢癌患者に放射線治療をする意義があるかどうかを調べることを目的としています。日本では今後超高齢癌患者に対する放射線治療の増加が予想されますが、この年齢層について研究がほとんどない現状にあり、今回の研究が有用な情報になる可能性があります。現状では超高齢癌患者の放射線治療は各施設でまだ少数例の経験がある程度であり、大阪大学を含めた多くの研究施設と協力して肺癌や肝癌に対する定位放射線治療を受けられた患者さんのデータを集めて研究を行います。

本研究は多機関共同研究であり、情報の研究機関間の授受を伴います。情報の移動を行う場合は、研究対象者の個人情報を守るための手段として、提供元で匿名化を行います。提供元施設から提供先施設の情報の授受は、匿名化されたまま特定記録郵便等の追跡可能な郵送手段もしくは研究担当者が直接受け取る形で行います。

② 利用し、又は提供する情報の項目

2007年1月～2023年3月に肺癌・肝癌に対して定位放射線治療を受けられた患者さんの、性別、年齢、病歴、治療歴、血液検査のデータ、放射線治療・画像のデータ、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

③ 利用又は提供を開始する予定日

2023年9月

④ 情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

共同研究機関

大阪大学大学院医学系研究科	放射線治療学	玉利 慶介
大阪国際がんセンター	放射線腫瘍科	為永 節雄
市立豊中病院	放射線治療科	足立 加那
吹田徳洲会病院	放射線治療科	藤原 聖輝
堺市立総合医療センター	放射線治療科	和田 健太郎
大阪警察病院	放射線治療科	山口 廣子
彩都友誼会病院	放射線治療科	塩見 浩也
日本生命病院	放射線治療科	丸岡 真太郎
都島放射線科クリニック	放射線治療科	玉利 慶介

既存情報の提供のみを行う機関

蘇生会クリニック サイバーナイフセンター 塩見 浩也

⑤ 提供する情報の取得の方法

各施設の研究者が電子カルテを閲覧し、既存の情報を取得します。

⑥ 提供する情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

大阪大学大学院医学系研究科 放射線治療学 玉利 慶介

⑦ 利用する者の範囲

この研究に利用する情報は共同研究機関、及び既存情報の提供のみを行う機関の範囲のみで利用されます。

⑧ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大阪大学大学院医学系研究科 放射線治療学 玉利 慶介

⑨ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する

⑩ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府大阪府中央区大手前 3-1-69

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科

研究責任者 為永 節雄 電話 06-6945-1181